

レッツ、ダイベスト！

**350 Japan 「レッツ、ダイベスト！～未来のために銀行を選ぶ1ヶ月～」キャンペーン プレスキット**  
**11月6日～12月12日**

■「レッツ、ダイベスト！」キャンペーンとは？

「レッツ、ダイベスト！」(<https://letsdivest.jp/>)は、大手銀行に気候変動に配慮した銀行業務を求めるために、感心のある消費者や団体に化石燃料や原子力にお金を流している銀行から預金を「ダイベスト」(引き揚げ)して、「地球にやさしい銀行」(1)へと口座を乗り換える行動を促すキャンペーンです。11月6日～12月12日の期間中、100人の個人と5団体の企業のダイベストメントを目指しています。

**350 Japan**はこのキャンペーンを通じて、地球の平均気温上昇を2℃より十分に抑えることを目標に「パリ協定に整合した投融資」に取り組むと表明することを邦銀に求めます。

「パリ協定」採択日の2周年である2017年12月12日には、「ダイベスト」した企業や団体の日本初の「ダイベストメント」を正式に発表するイベントも開催する予定です。

キャンペーン期間中より多くの人に参加してもらえよう、東京近辺で様々なイベントを展開します。

注釈:

(1) <http://bit.ly/2lUKgTd> **化石燃料・原発関連企業への投融資が確認されなかった金融機関45社**

■「レッツ、ダイベスト！」キャンペーンの背景

ここ数年、気温が人類史上最高を記録する年が続いています。巨大化する台風に伴って引き起こされる洪水、広範囲に広がる干ばつが、次々と私たちの住まいや国を破壊しています。気候変動の危機は、もはや未来の脅威ではありません。今、目前にある危機です。

2015年12月12日に「パリ協定」が採択され、日本を含む195カ国が将来世代が安全に暮らせる地球環境を残すために、地球の平均気温の上昇を1.5-2C未満に抑え、これ以上の気候変動の進行を止めるために努力することにコミットしました。これは、気候変動の最大の原因である石炭や石油などの化石燃料エネルギーの活用をゼロにし、自然エネルギー社会への移行を加速させる意味をします。

一方で、パリ協定の流れに逆行するかたちで、私たちがお金を預けている銀行は気候変動を加速させる化石燃料やリスクの高い原子力に関わる企業に巨額のお金を流しています。350 Japanは、2017年9月に国内大手銀行7行に対して、「パリ協定」に整合した銀行業務を求める要請書および署名提出を行いました。しかし、どの銀行からも納得行く回答を得られませんでした。

欧米の大手銀行は気候変動リスクの低減に向けて、石炭を中心とした化石燃料関連事業への投融資を抑制する方針を次々と発表しています。その中で、邦銀は大きく遅れをとっています。さらに、「パリ協定」採択日の2周年を迎える今年12月12日には、エマニュエル・マクロン仏大統領主催でパリにて国際気候サミットでは、脱炭素経済への移行を加速させる上での金融業界の役割は重要な論点となります。邦銀に脱炭素社会の実現に向けた責任ある投融



資にコミットしてもらうためには、市民による直接行動が必要だと判断し「レッツ、ダイベスト！」キャンペーンを展開することにしました。

### ■「ダイベストメント」とは？

「ダイベストメント」(投資撤退)とは、「インベストメント」投資(投資)の逆 - つまり、エシカルではないまたは道徳的に不確かだと思われる株、債券、投資信託を手放すことを意味します。

ダイベストメント運動は、化石燃料をターゲットとして2011年に米国の大学から始まりました。

2014年9月、石油業界で財を成してきたロックフェラー兄弟財団が化石燃料ダイベストメントを表明したとき、この運動は大きな転換点を迎えました。現在、多くの企業、金融・保険会社、年金基金、投資家、地方自治体、財団、教会などがダイベストメント運動への参加を表明しています。今では、運用資産総額約5.6兆米ドル(約639兆円)を誇る808機関がダイベストメントを表明しています。(最新のダイベストメント表明に関するデータはこちらからご覧になれます: [www.gofossilfree.org/commitments](http://www.gofossilfree.org/commitments))

### ■350 Japanについて

米国を拠点に、世界188か国において活動を展開している国際環境NGO 350.orgの日本支部。350 Japanは化石燃料ダイベストメントを日本に広めるべく、2015年4月に設立された。350 Japanは、温暖化を加速させる化石燃料関連企業や国民の安全や健康を危険にさらす原発関連企業へ投融資を行っていない「地球にやさしい銀行」選びを消費者に促す活動を現在東京を中心に展開している。

### ■「レッツ、ダイベスト」キャンペーン期間中に開催予定のイベント

期間中、より多くの人に「レッツ、ダイベスト」キャンペーンに参加してもらえるように様々なイベントが展開されます。主なイベントは次の通りです(その他のイベントは「[レッツ、ダイベスト!](https://letsdivest.jp/)」公式ウェブサイト (<https://letsdivest.jp/>)よりご覧になれます。):

幸せの経済世界フォーラム2017: ローカル x エシカル x 地球にやさしい金融

【日時】11/12 (日) 10:30 - 12:00

【開催場所】[明治学院大学白金キャンパス・パレットゾーン\(東京都港区白金台1-2-37\)](#)

<http://bit.ly/2wYfidN>

【イベント概要】11月11~12日に開催される「しあわせの経済」世界フォーラム2017年イベントの一環として行われるトークイベント。「ローカルxエシカルx地球にやさしい金融とは？」というテーマに沿って末吉里花さん(エシカル協会代表理事)、吉原毅さん(城南信用金庫顧問)、新井和宏さん(鎌倉投信ファンドマネジャー)、ジョージ・ファーガソンさん(建築家、元ブリストル市長)の豪華ゲストに議論を重ねていただきます。

【イベントページ】<https://goo.gl/mDXV4j>

「日本と再生」上映&河合監督トークセッションwith 350 .org Japan

【日時】11/18 (土) 18:30 - 21:00

【開催場所】[三鷹市公会堂さんさん館3階多目的会議室\(東京都三鷹市野崎1-1-1\)](#)

【イベント概要】河合弘之弁護士監督作品・映画「日本と再生 光と風のギガワット作戦」特別上映会。上映終了後、河合監督と350 .org Japanスタッフのトークセッションを予定しております。

[「日本と再生」ホームページ](#)

イベントページ: <http://kokucheese.com/event/index/492371/>

ダイベスト DAY(銀行前ダイベストメントアクション)



【日時】12/6(水)-7(木)調整中

【開催場所】調整中

【イベント概要】3大メガバンク(みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行)店舗で集まり、参加者とともに化石燃料および原子力にお金を流している銀行の口座を閉鎖するアクション。

イベントページ: <https://goo.gl/forms/MIDF42eHDQ0htCvf1>

ダイベスト宣言 記者会見

【日時】12/12(火)調整中

【開催場所】調整中

【イベント概要】「ダイベスト」した企業や団体が日本初の「ダイベストメント宣言」を発表する記者会見。「レッツ、ダイベスト！」キャンペーンを通じて集まった「ダイベスト」した方々のメッセージも銀行へ直接とどけるアクションも予定しております。

#### ■取材可能人物について

「レッツ、ダイベスト！」キャンペーン期間中、下記の350 Japanチームを含め、キャンペーンに携わっている人への取材を受け付けております。ご興味のある場合、広報担当(棚尾)までメール([marie.tanao@350.org](mailto:marie.tanao@350.org))にてご連絡ください。

#### 1. 古野真(350 Japan代表)



1983年1月31日、千葉県生まれ。5歳で両親とともにオーストラリアのブリスベン市に移住。2006年クイーンズランド大学社会科学・政治学部卒業。2011年オーストラリア国立大学気候変動修士課程卒業。オーストラリア政府の気候変動省(当時)に勤務。2015年4月、気候変動問題に取り組む国際環境NGO「350.org」の日本担当となり、日本初の事務所を立ち上げた。

#### 2. 清水イアン(350 Japanフィールドオーガナイザー)



1992年1月24日、大阪府生まれ東京都育ち。日本人の母と英国出身の父を持つ。東京都世田谷区のセント・メリーズ・インターナショナル・スクールを経て、国際基督教大学(ICU)を卒業。ICU在学時に環境問題に本格的な関心を持ち始め、学外で環境問題に関わる活動に携わるようになる。古野真との出会いをきっかけに、2015年9月より国際環境NGO「350.org」日本事務所のフィールドオーガナイザーとして勤務を開始。現在もオーガナイザーとして活動中。

#### 3. 松尾沙織(フリーランスライター/350 Japanダイベストメントコミュニケーター)



2011年の震災をきっかけに、当時の働き方や社会の持続可能性に疑問を持ち、働いていたアパレル企業を5年で退社。「ソーシャルデザイン」という言葉に出会い、NPO法人グリーンズにてライターインターンを経て、編集学校を卒業。現在はフリーランスのライターとして、さまざまなメディアでエシカル消費やエシカル金融、SDGsを紹介する記事を執筆、国際環境 NGO「350.org Japan」のダイベストメントコミュニケーターとして活動中。

お問合せ先:

350 Japan 棚尾真理絵: 090-2183-2113, [marie.tanao@350.org](mailto:marie.tanao@350.org)